

# 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

---

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2024年11月13日

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算 . . . . .	2
2. 2025年3月期 業績予想・配当予想 . . . . .	20
3. トピックス . . . . .	25

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算

---

# 企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
	島田組		国内（全国）
	みらい建設工業		国内（全国）
	青木マリーン		国内（全国）
	エムズ		首都圏
	東興ジオテック		国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

## 2025年3月期第2四半期業績

- 1 受注高：1,927億円、売上高：1,621億円、営業利益：25億円。  
計画に対し受注は過達。売上は計画通り。営業利益は計画を下回った。  
青木あすなる建設の営業赤字と東興ジオテックの不振が原因。

## 2025年3月期通期業績 修正予想











- 2 受注高は期初発表3,900億円に対し100億円増加の4,000億円に修正。  
売上高は期初発表3,500億円を据え置き。  
営業利益は期初発表150億円に対し20億円減少の130億円に修正。

## 株主還元

- 3 業績予想は修正したが、配当は期初発表通り年間82円を維持する予定。  
配当性向は40.8%。

# 2025年3月期 第2四半期 業績推移

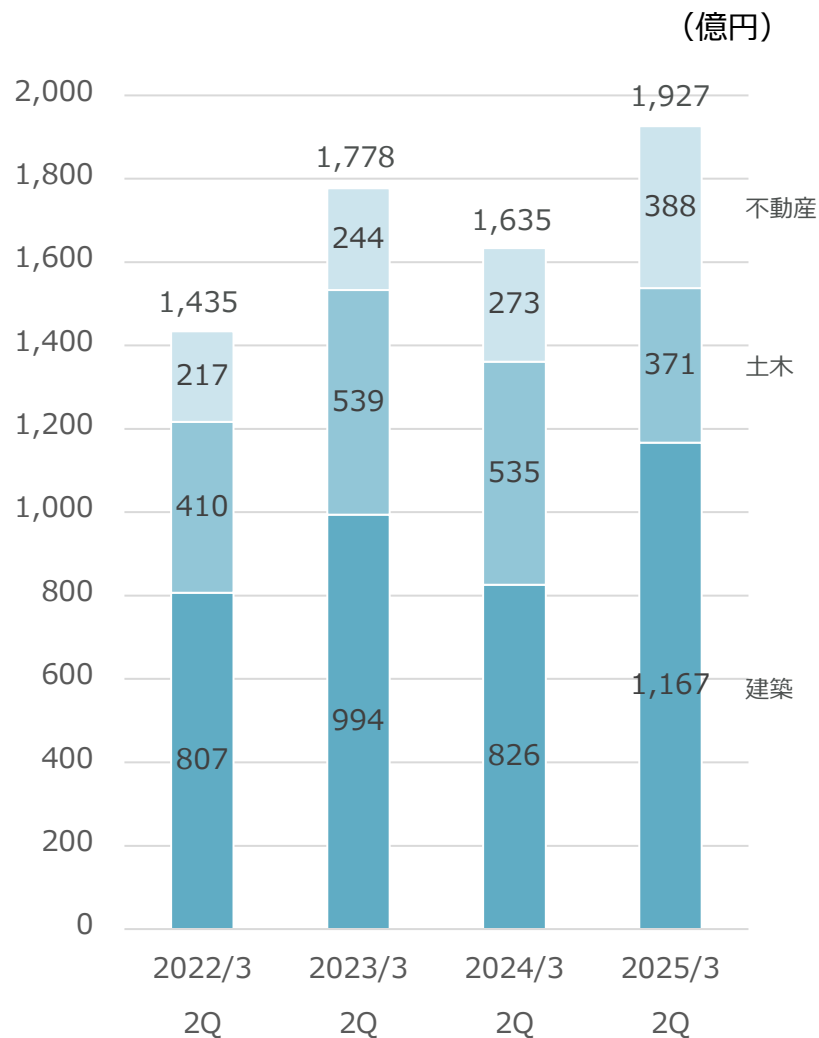
(億円)

項目	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減率
受注高	1,435	1,778	1,635	 1,927	+17.8%
売上高	1,259	1,288	1,432	 1,621	+13.1%
売上総利益	168	176	192	 191	△0.7%
売上総利益率	13.4%	13.7%	13.4%	 11.8%	△1.6pt
営業利益	31	28	33	 25	△22.5%
営業利益率	2.5%	2.2%	2.3%	 1.6%	△0.7pt
経常利益	31	29	34	 21	△37.6%
経常利益率	2.5%	2.3%	2.4%	 1.3%	△1.1pt
親会社株主帰属 中間純利益	16	13	11	 5	△54.0%
中間純利益率	1.3%	1.1%	0.8%	 0.3%	△0.5pt

# セグメント別 受注高

◆ 建築は高松建設と青木あすなる建設の増加により前年同期比+41.2%と大幅増。土木は青木あすなる建設、みらい建設工業、東興ジオテックで減少し前年同期比△30.8%と大幅減。不動産は主にタカマツハウスの増加により前年同期比+42.1%と大幅増。

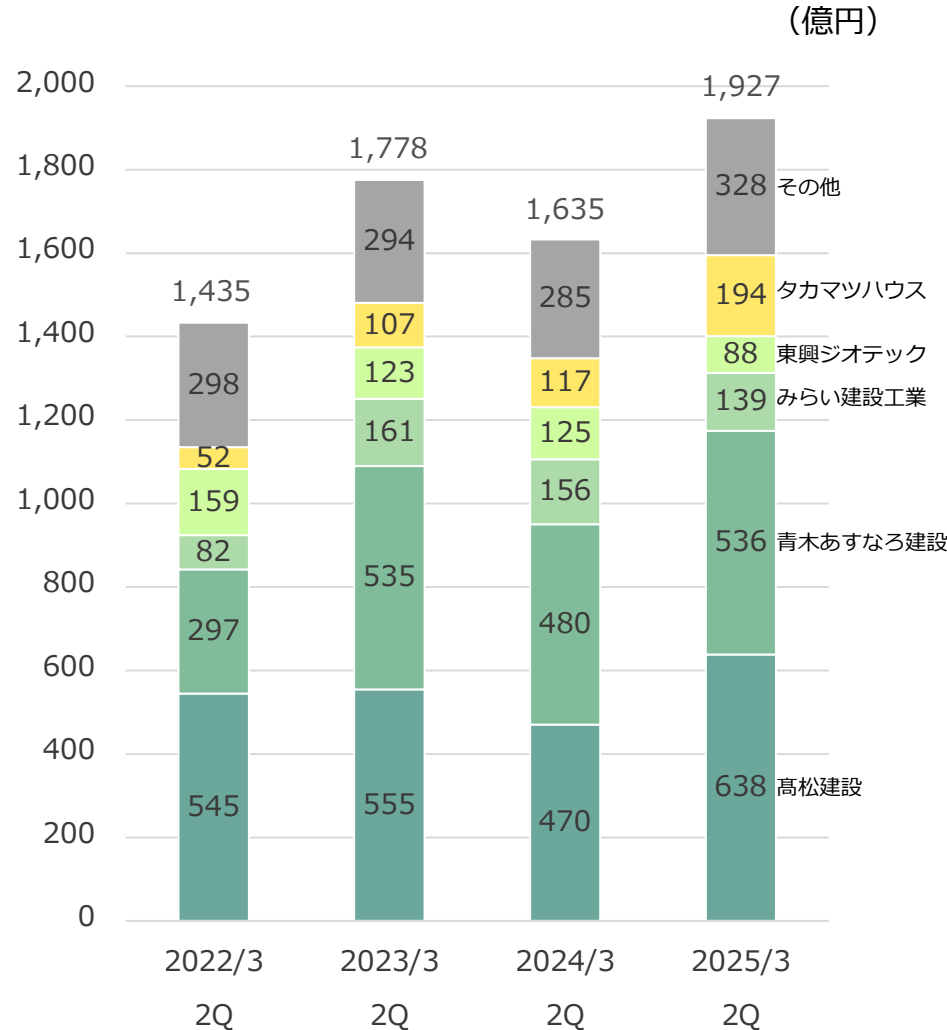
セグメント別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
建築	80,753	99,476	82,643	116,726
土木	41,070	53,912	53,594	37,107
不動産	21,712	24,449	27,352	38,880
連結合計	143,535	177,837	163,590	192,714



# 中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は同社としては金額規模の大きいマンション受注が増え、前年同期比+35.8%と大幅増。青木あすなる建設は建築で大型案件を複数受注し、前年同期比+11.7%。みらい建設工業は前年同期比では大型案件受注が少なく、前年同期比△10.7%。東興ジオテックは前年同期比△29.9%と大幅減。タカマツハウスは首都圏の分譲戸建住宅の在庫過多に対応し、販売価格の調整を含む積極的な販売活動を実施し前年同期比+66.1%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社も前年同期比+15.3%と増加。

会社別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
高松建設 (単体)	54,506	55,580	47,017	63,838
青木あすなる 建設 (単体)	29,721	53,564	48,079	53,697
みらい 建設工業 (単体)	8,229	16,113	15,669	13,995
東興 ジオテック (単体)	15,955	12,379	12,566	8,809
タカマツ ハウス (単体)	5,238	10,769	11,724	19,477
その他 (含連結調整)	29,886	29,432	28,535	32,898
連結合計	143,535	177,837	163,590	192,714





# 中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 高松建設は受注高の増加により前年同期比+10.4%。青木あすなろ建設は前年同期比+2.9%。みらい建設工業は前年同期比△3.6%。東興ジオテックは受注高の減少により前年同期比△11.3%。タカマツハウスは受注高、売上高の増加により前年同期比+66.1%と大幅増。連結合計で前年同期比+5.3%となった。

(百万円)

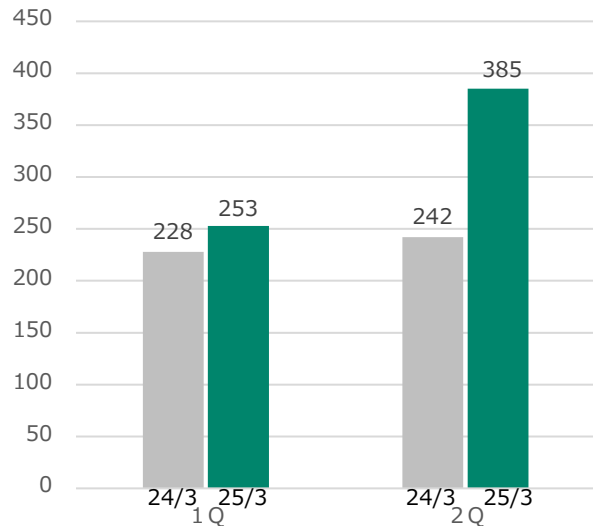
会社別		2024/3 2Q	2025/3 2Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)		208,380	229,970	↑ 21,590	+10.4%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	92,447	107,266	↑ 14,819	+16.0%
	土木	69,961	59,900	↓ △10,061	△14.4%
	合計	162,409	167,166	↑ 4,757	+2.9%
みらい建設工業 (単体)		33,921	32,705	↓ △1,216	△3.6%
東興ジオテック (単体)		13,110	11,627	↓ △1,483	△11.3%
タカマツハウス (単体)		3,216	5,341	↑ 2,125	+66.1%
その他 (含連結調整)		22,407	20,157	↓ △2,250	△10.0%
連結合計		443,443	466,966	↑ 23,523	+5.3%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

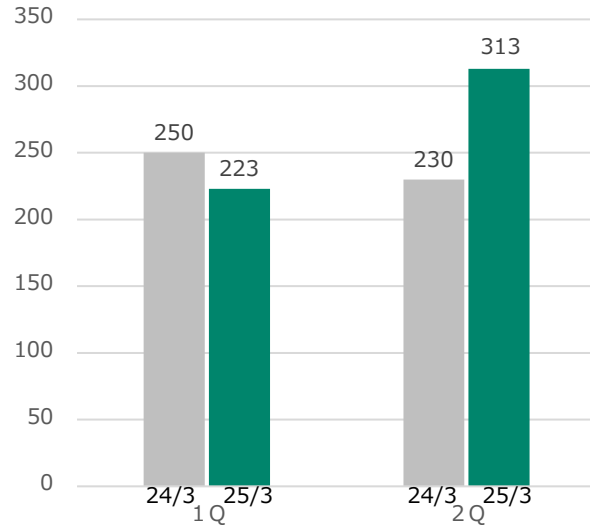
# 中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

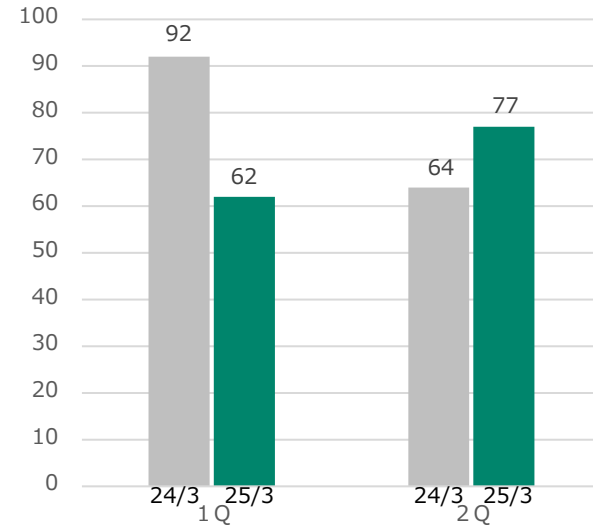
## 高松建設



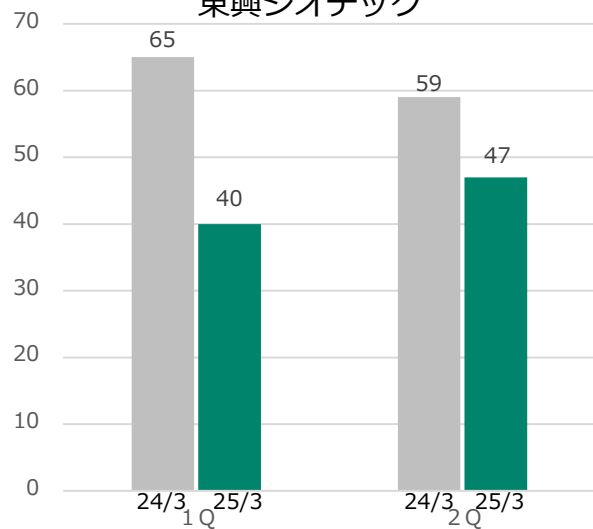
## 青木あすなろ建設



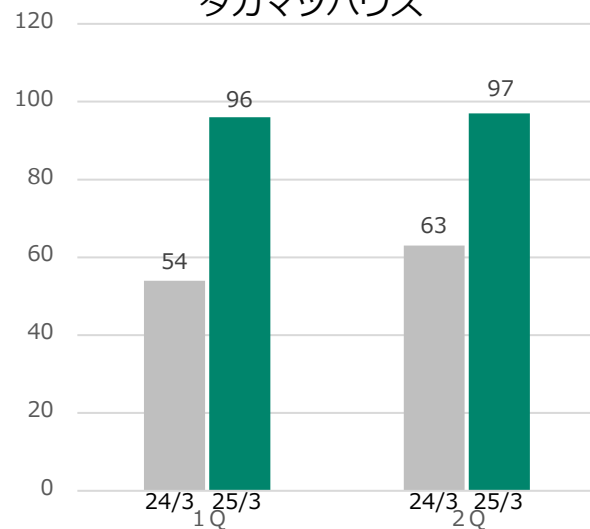
## みらい建設工業 (億円)



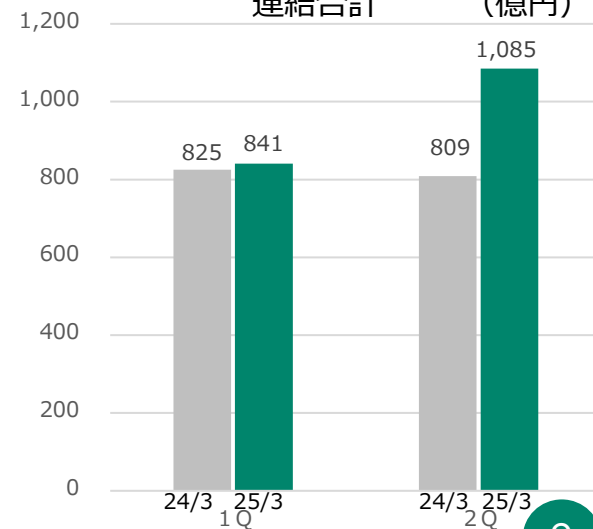
## 東興ジオテック



## タカマツハウス



## 連結合計 (億円)



# 高松建設 セグメント別受注高

- ◆ 大阪・東京ともに賃貸マンション建築は前年同期の受注高を上回り、特に東京では前年同期比約127億円増となった。
- ◆ 一般建築は、大阪で前年同期比約79億円減も東京で約78億円増となり、高松建設全体では前年同期を大きく上回る受注高となった。
- ◆ 不動産の内訳は、販売用不動産および分譲マンションの合計受注高。2023年4月に開始した分譲事業は、今期大阪・東京合わせて5物件を売却予定。

セグメント別 受注高

(百万円)

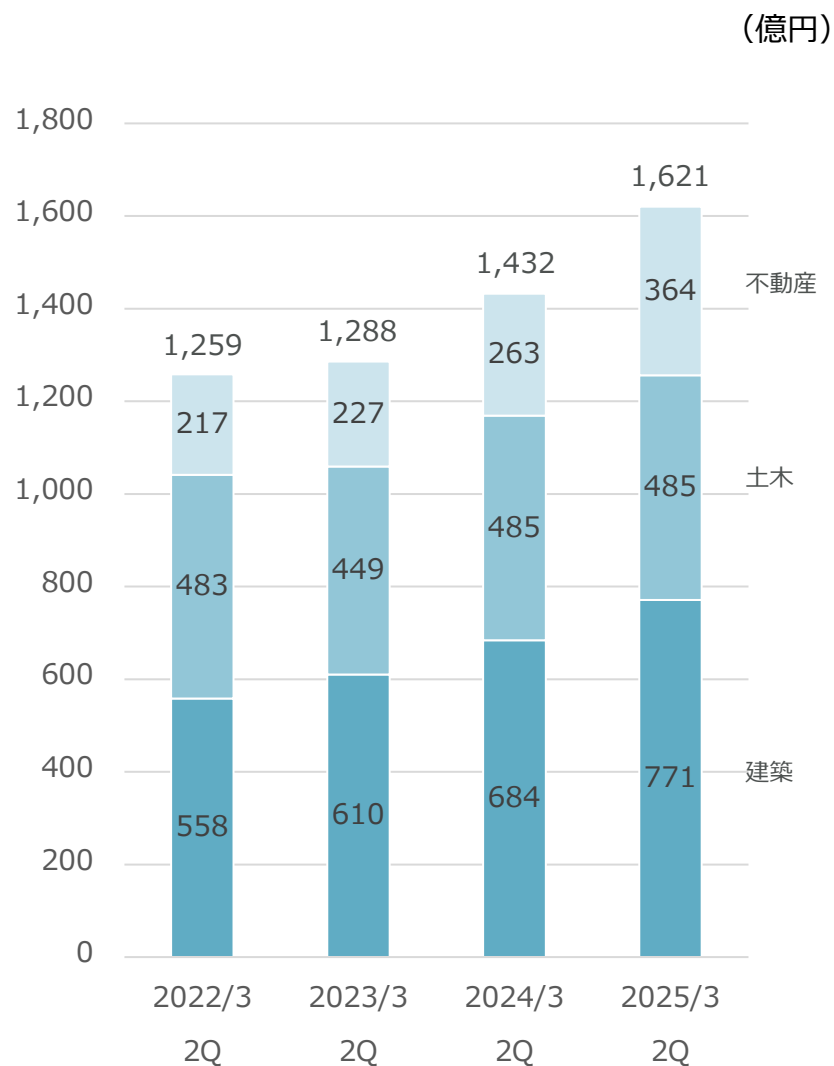
		大阪				東京			
		2024/3 2Q	構成比	2025/3 2Q	構成比	2024/3 2Q	構成比	2025/3 2Q	構成比
建築	賃貸 マンション	1,902	6.5%	4,669	19.2%	10,920	60.9%	23,627	59.7%
	一般建築	26,243	90.2%	18,270	75.2%	6,799	37.9%	14,654	37.0%
不動産		939	3.2%	1,345	5.5%	214	1.2%	1,273	3.2%
合計		29,084	100%	24,284	100%	17,933	100%	39,554	100%

※数値はグループ会社間取引を含む。  
※構成比は小数点以下第二位四捨五入

# セグメント別 売上高

◆ 建築は青木あすなろ建設の増加により前年同期比+12.6%。土木は+0.1%と微増。不動産は主にタカマツハウスの増加により+38.7%。

セグメント別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
建築	55,884	61,044	68,486	77,105
土木	48,382	44,999	48,505	48,533
不動産	21,712	22,763	26,307	36,493
連結合計	125,980	128,807	143,298	162,133

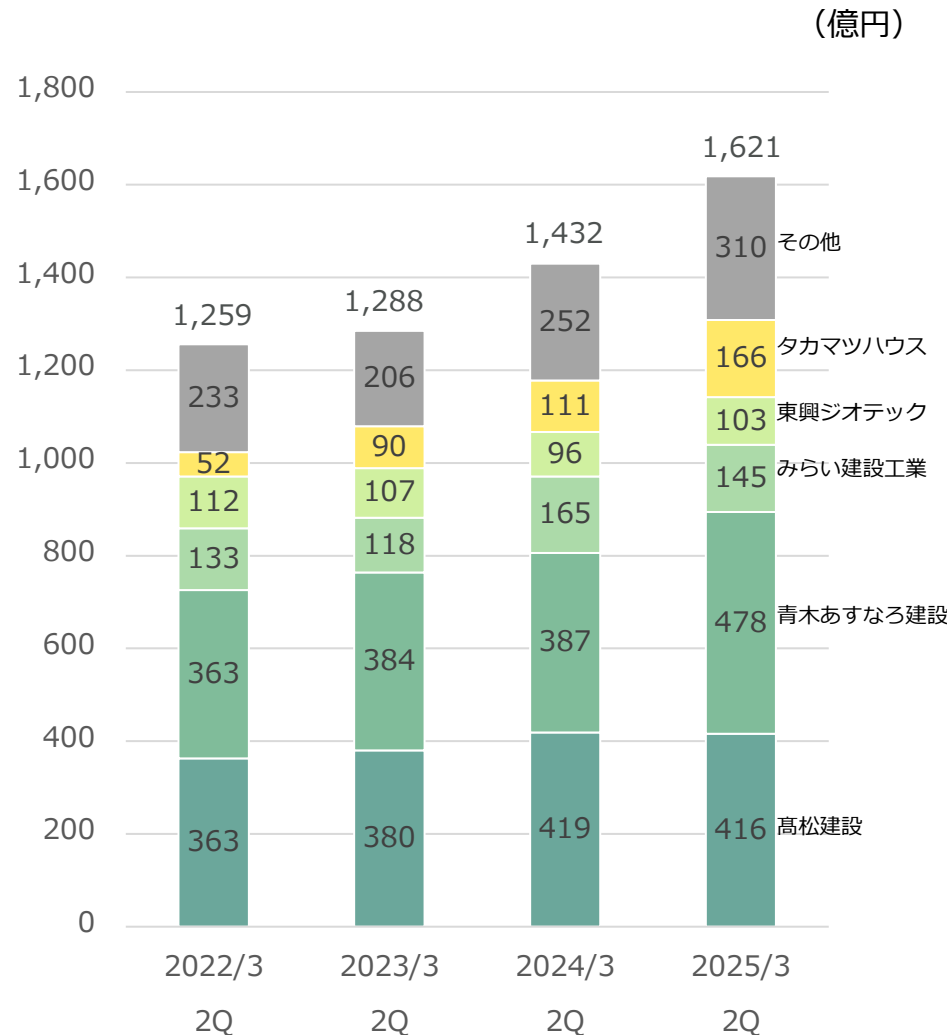


# 中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前年同期比△0.7%と微減。青木あすなる建設は繰越工事が順調に進捗し前年同期比+23.4%と大幅増。みらい建設工業は台風による港湾工事の工程遅延等により前年同期比△11.9%。東興ジオテックは前年同期比+7.6%。タカマツハウスは首都圏の分譲戸建住宅の在庫過多に対応し、販売価格の調整を含む積極的な販売活動を実施し前年同期比+48.6%。その他中核5社以外のグループ会社も前年同期比+23.1%と大幅増。

(百万円)

会社別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
高松建設 (単体)	36,346	38,048	41,928	41,654
青木あすなる 建設 (単体)	36,379	38,457	38,780	47,856
みらい 建設工業 (単体)	13,354	11,822	16,559	14,580
東興 ジオテック (単体)	11,273	10,786	9,628	10,365
タカマツ ハウス (単体)	5,238	9,083	11,193	16,633
その他 (含連結調整)	23,390	20,611	25,210	31,045
連結合計	125,980	128,807	143,298	162,133

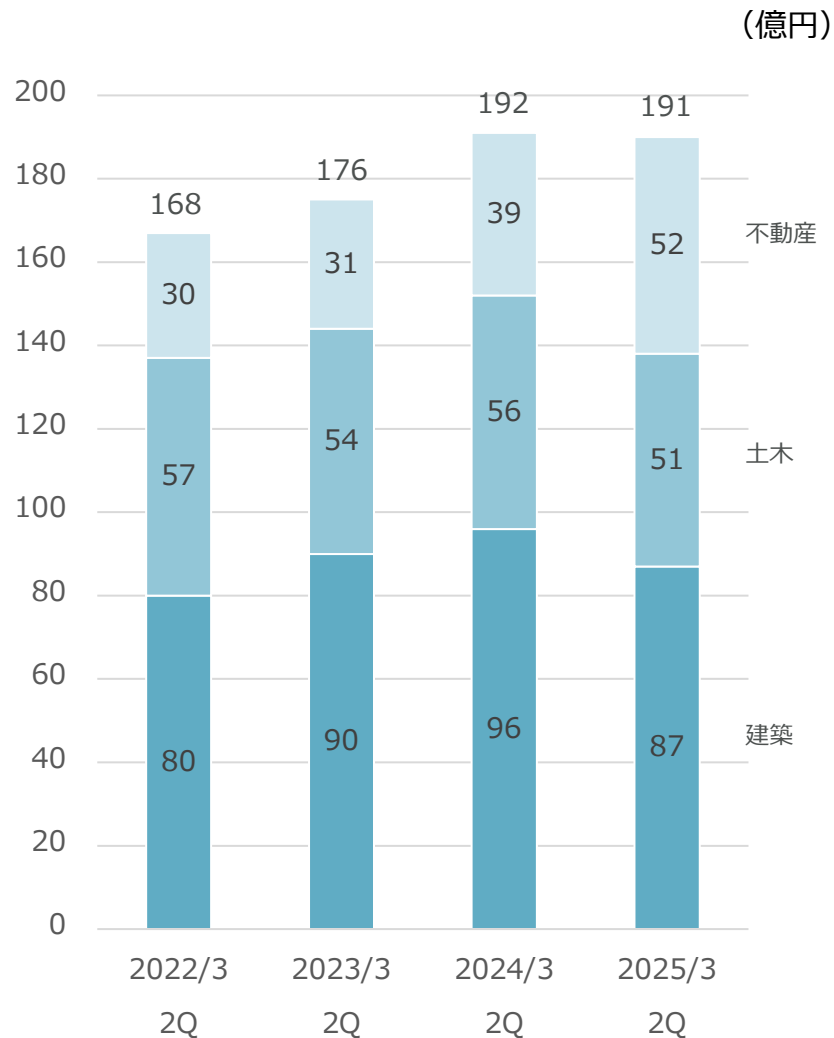


# セグメント別 売上総利益

◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設で減少し、前年同期比△9.7%。土木は青木あすなろ建設で減少し前年同期比△9.0%。不動産は高松建設、その他中核5社以外のグループ会社で増加し前年同期比+33.4%と大幅増。

(百万円)

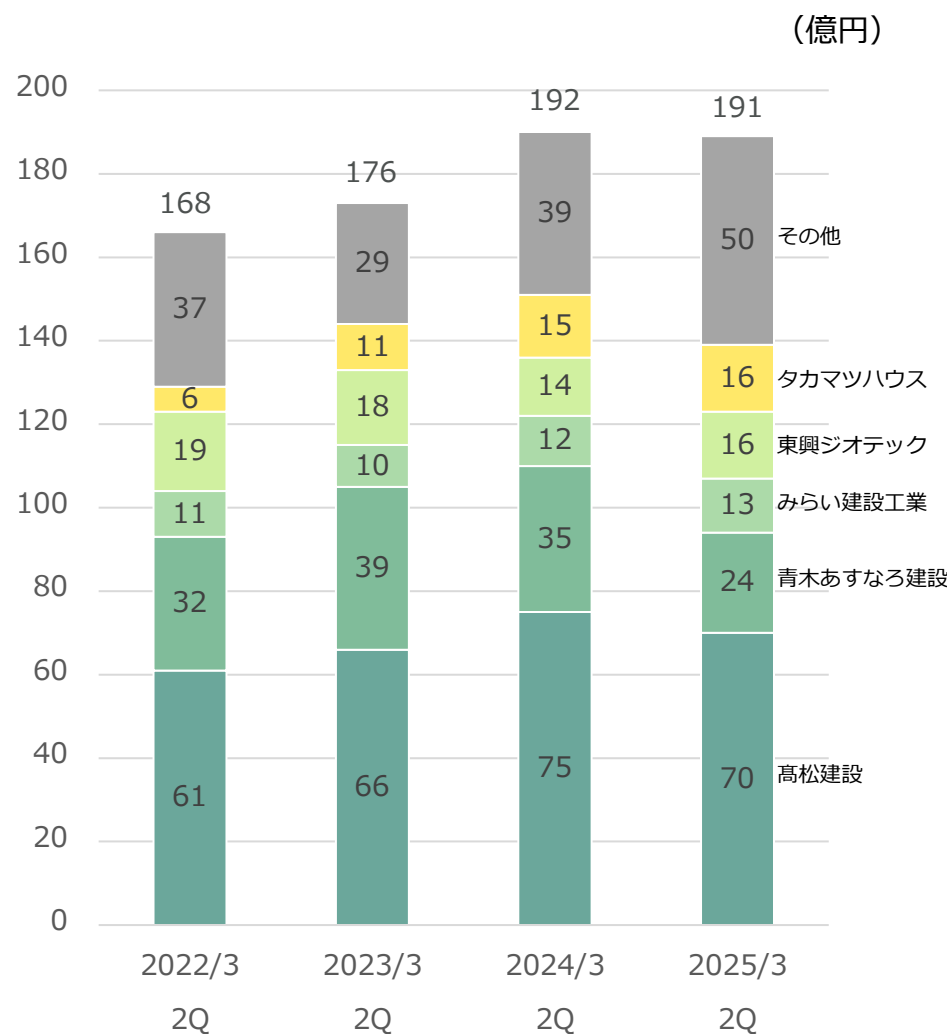
セグメント別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
建築	8,042	9,079	9,657	8,719
土木	5,760	5,439	5,644	5,135
不動産	3,036	3,132	3,931	5,245
連結合計	16,840	17,651	19,234	19,100



# 中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は前年同期比△6.4%。青木あすなる建設は主に建築で大幅減となり、前年同期比△31.2%。みらい建設工業は前年同期比+8.8%。東興ジオテックは前年同期比+8.6%。タカマツハウスは売上の増加により前年同期比+10.5%。その他中核5社以外のグループ会社でも前年同期比+26.4%と大幅増。

会社別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
高松建設 (単体)	6,174	6,673	7,508	7,029
青木あすなる 建設 (単体)	3,217	3,943	3,521	2,424
みらい 建設工業 (単体)	1,138	1,051	1,258	1,368
東興 ジオテック (単体)	1,989	1,882	1,478	1,606
タカマツ ハウス (単体)	621	1,167	1,505	1,663
その他 (含連結調整)	3,701	2,935	3,964	5,010
連結合計	16,840	17,651	19,234	19,100

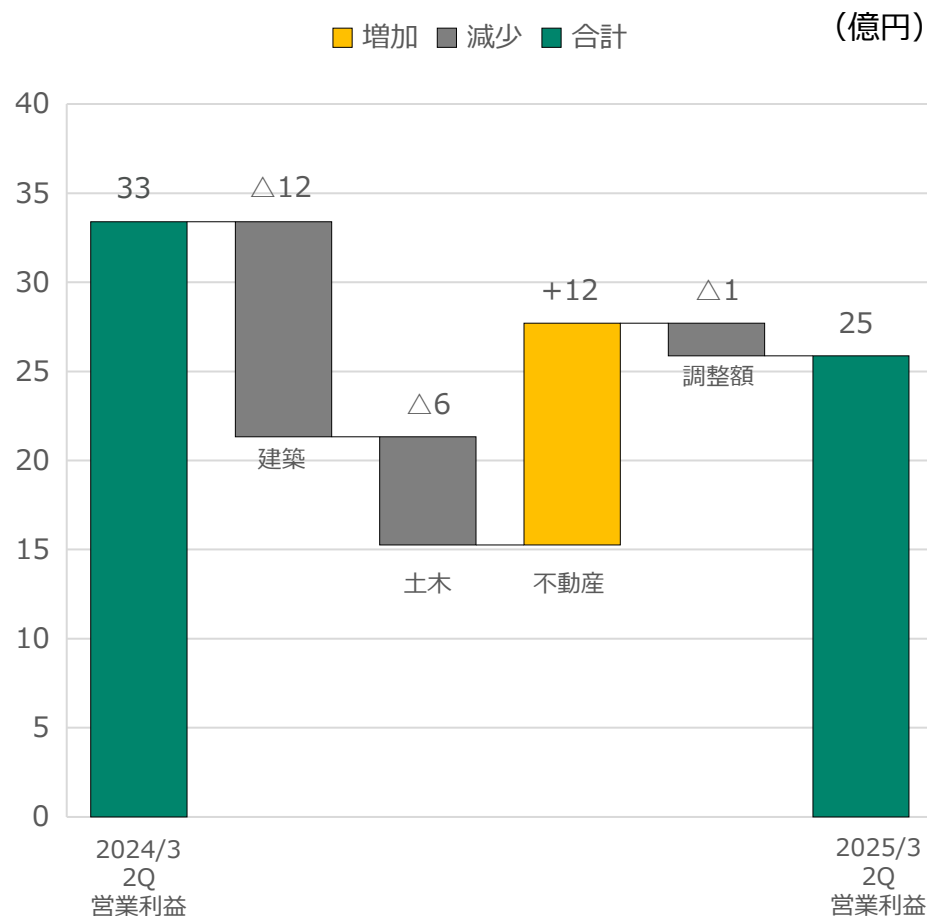


# セグメント別 営業利益

◆ 建築は高松建設、青木あすなる建設で大幅に減少し、前年同期比△90.6%と大幅減。土木は青木あすなる建設で減少し、前年同期比△22.8%と大幅減。不動産は主にその他中核5社以外のグループ会社で増加し、前年同期比+68.6%と大幅増。

(百万円)

セグメント別	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2025/3 2Q
建築	72	1,159	1,330	124
土木	3,110	2,529	2,667	2,060
不動産	1,935	1,499	1,815	3,060
連結調整	△1,989	△2,357	△2,474	△2,657
連結合計	3,128	2,830	3,339	2,588

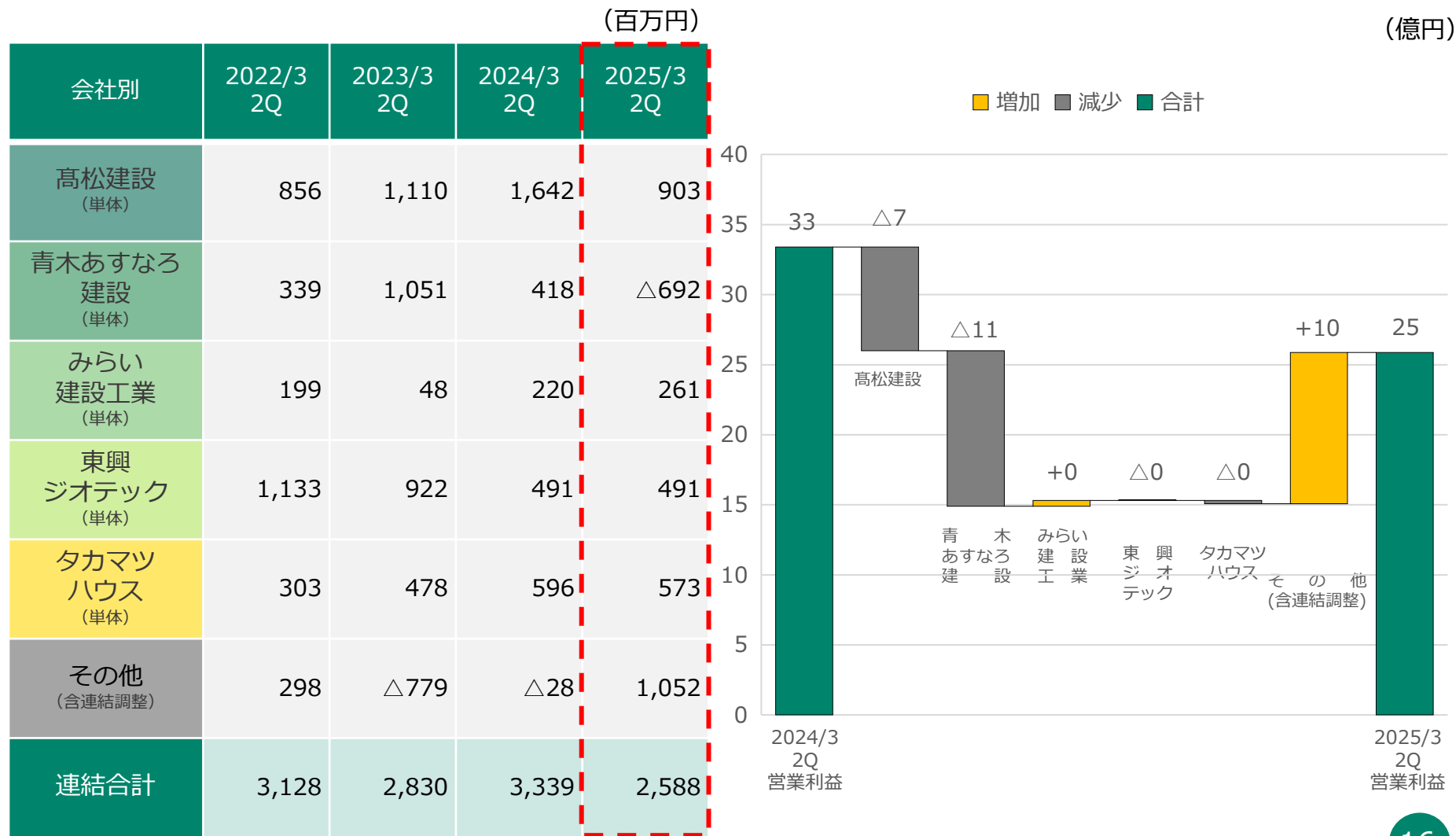


※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。



# 中核事業会社別 営業利益

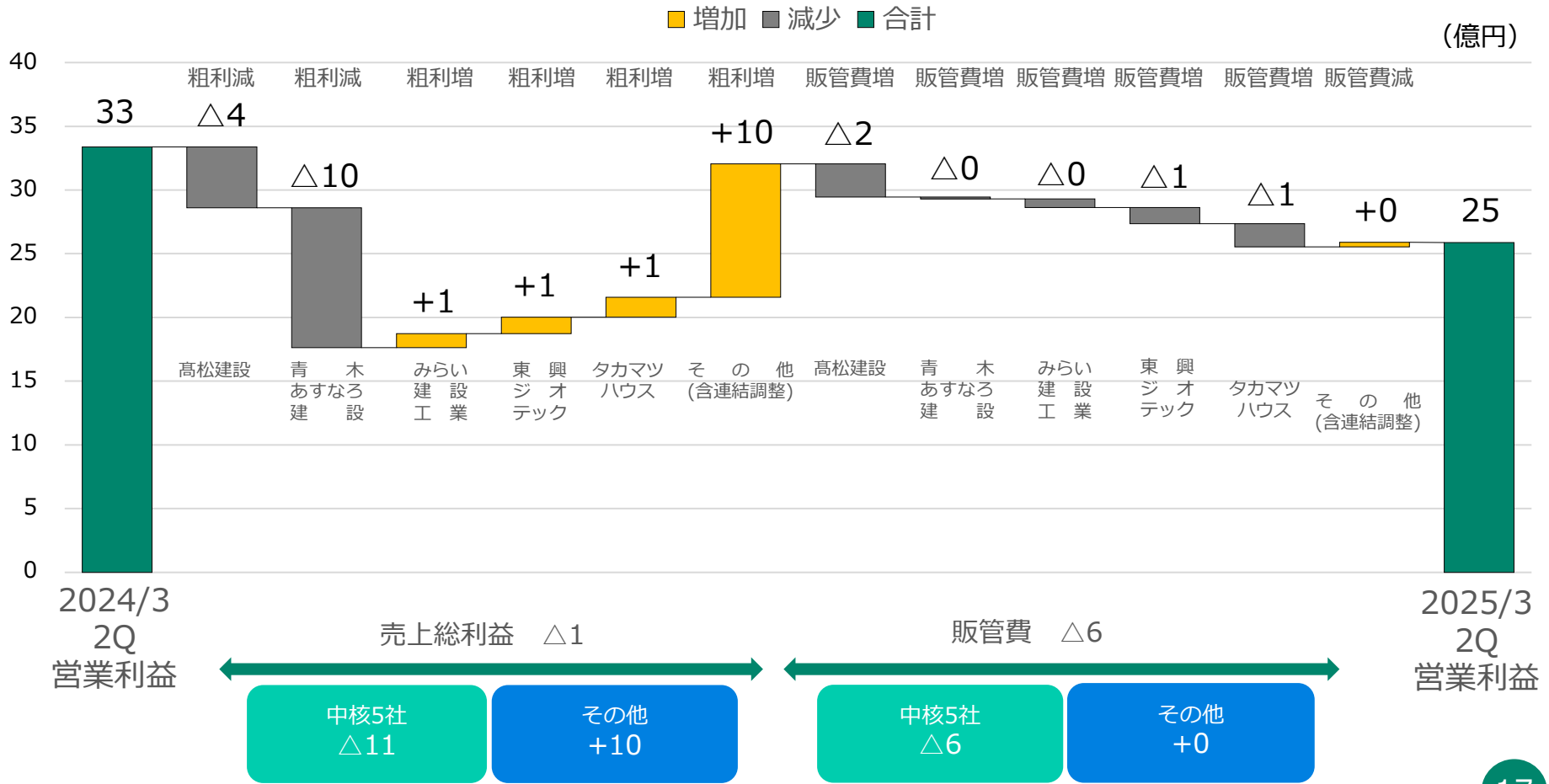
◆ 高松建設は第1四半期の営業赤字から回復したものの、その影響もあり前年同期比 $\Delta 45.0\%$ 。青木あすなる建設は売上総利益額の減少、売上総利益率の低下により約7億円の営業赤字。みらい建設工業は売上総利益率の上昇により前年同期比 $+18.9\%$ 。東興ジオテックは前年同期比 $\Delta 0.1\%$ 。タカマツハウスは前年同期比 $\Delta 3.8\%$ 。その他中核5社以外のグループ会社では前年の営業赤字から回復し、約10億円の営業黒字となった。



# 売上総利益・販管費 営業利益増減分析

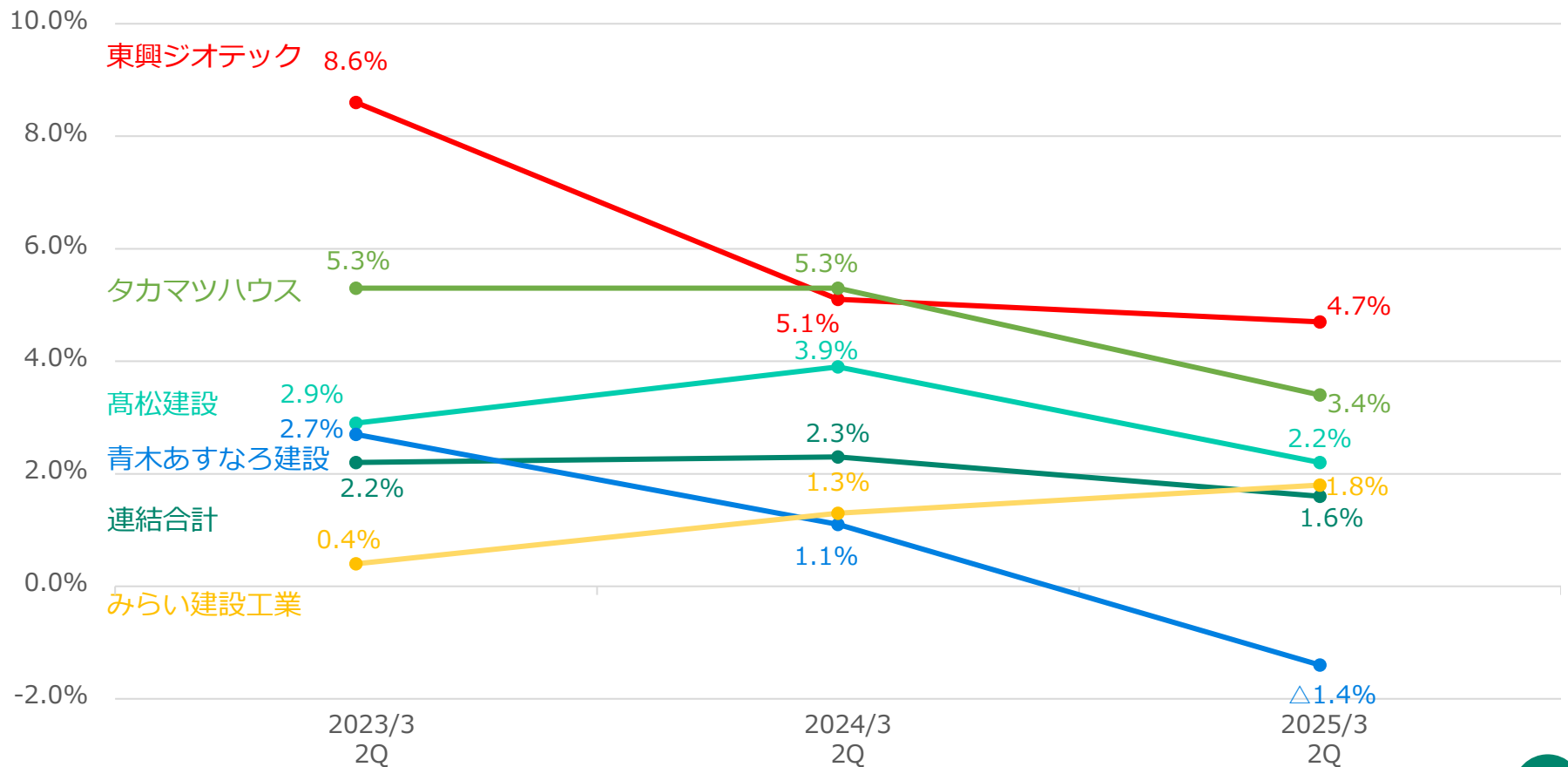
- ◆ 高松建設および青木あすなろ建設の売上総利益減を、主にその他中核5社以外のグループ会社の売上総利益増で補ったものの、前年同期比約1億円の売上総利益減となった。
- ◆ 販管費は主に高松建設で人件費が増加し、前年同期比約6億円の増加となり、営業利益は全体で前年同期比約7億円の減少となった。

## 営業利益増減分析



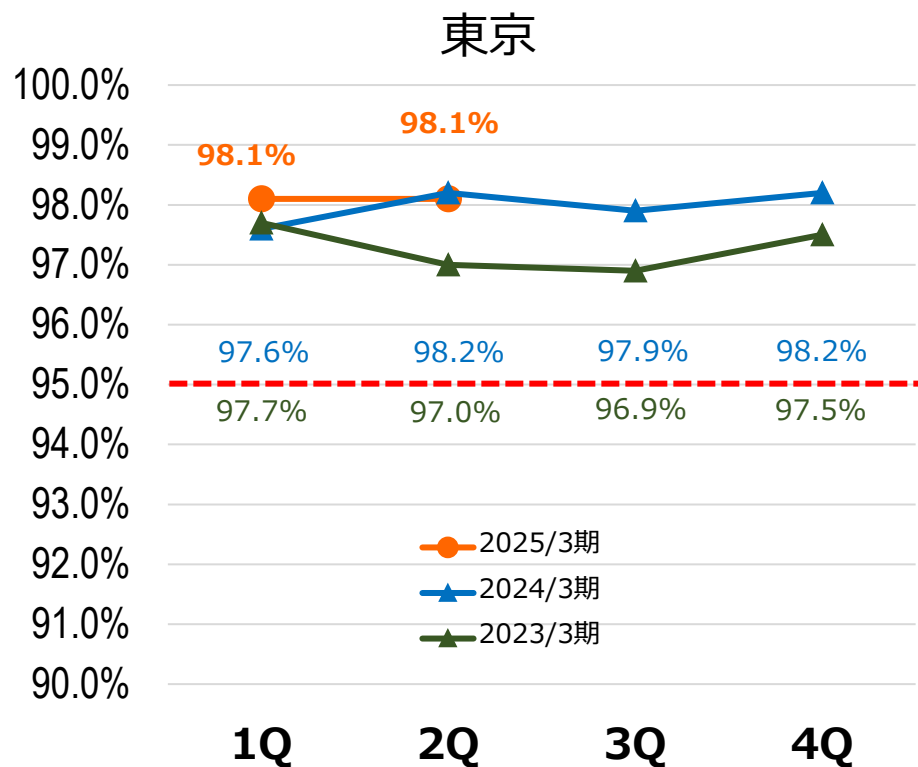
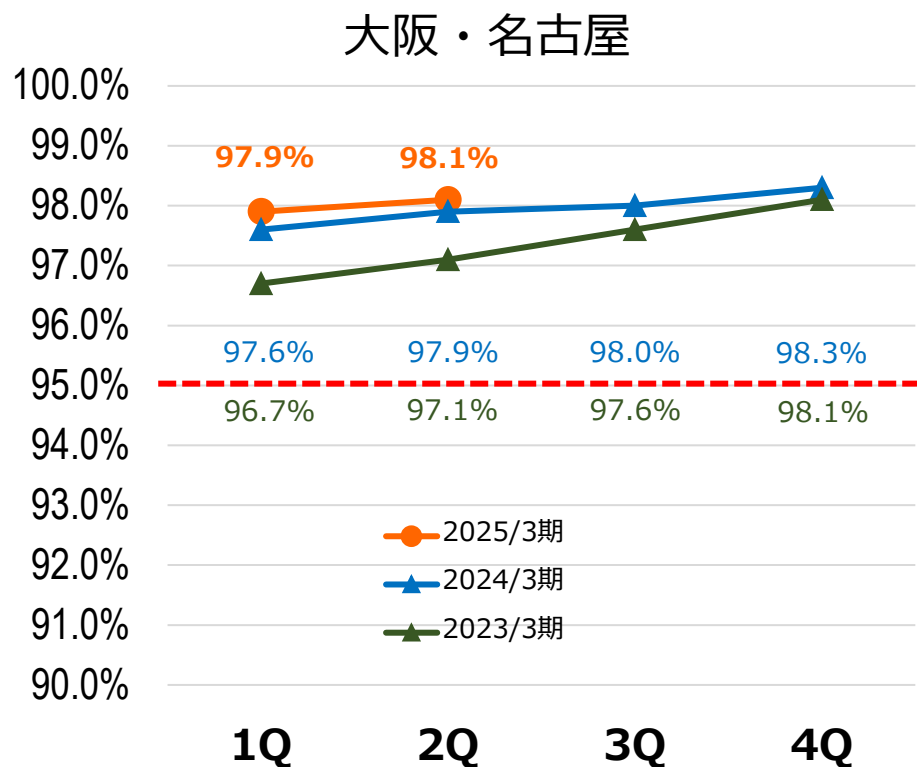
# 連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年同期比 $\Delta 1.0$ pt、販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 1.7$ ptと低下。
- ◆ 青木あすなろ建設の売上総利益率は前年同期比 $\Delta 4.0$ ptと大幅に低下し、営業利益率も前年同期比 $\Delta 2.5$ ptと大幅に低下。
- ◆ みらい建設工業の売上総利益率は $+1.8$ ptとなり、営業利益率は前年同期比 $+0.5$ pt。
- ◆ 東興ジオテックの売上総利益率は前年同期比 $+0.1$ pt、営業利益率は前年同期比 $\Delta 0.4$ pt。
- ◆ タカマツハウスの売上総利益率は在庫の調整局面にあるため $\Delta 3.5$ ptと大幅に低下し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 1.9$ ptと低下。



# 高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は25/3月期2Qも95%以上を維持。



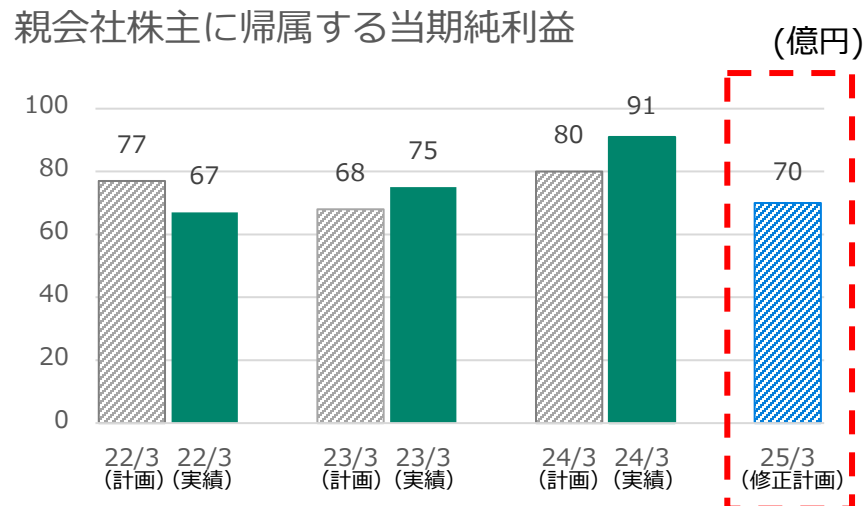
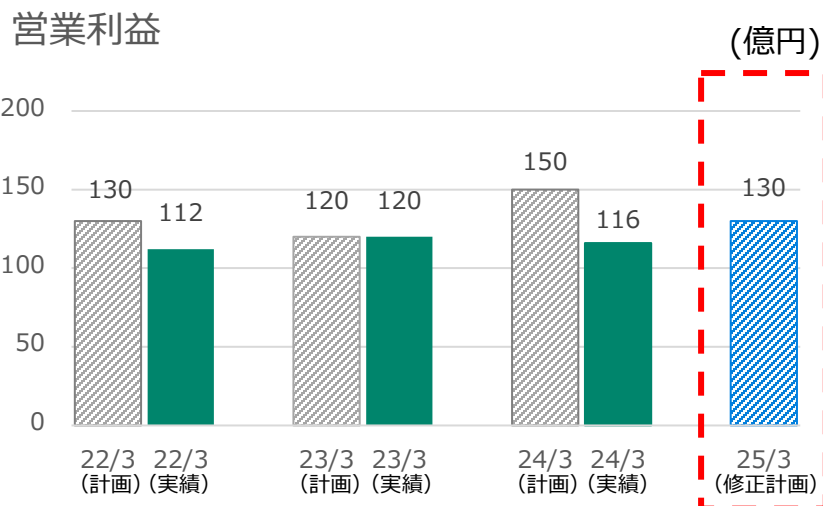
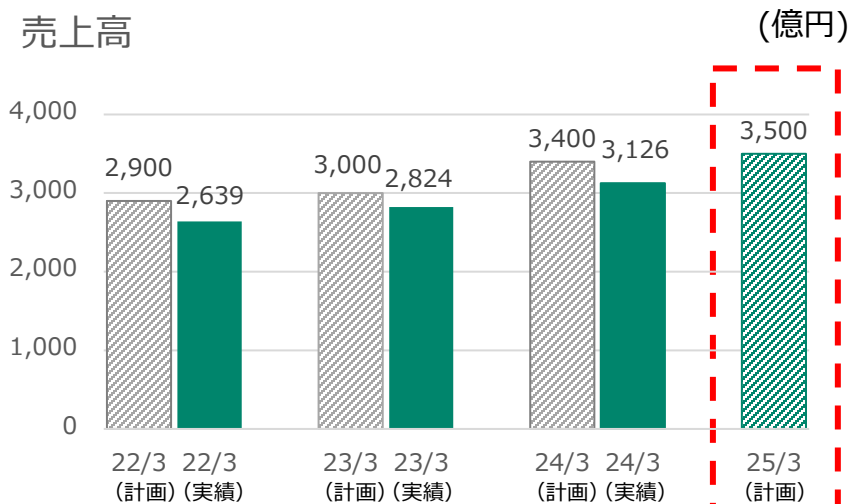
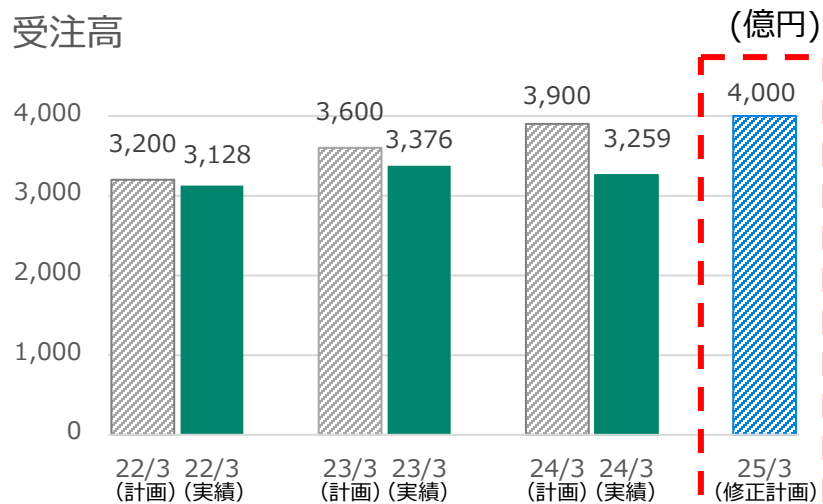
定義：  
 「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市  
 「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県  
 「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数  
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2025年3月期  
業績予想・配当予想

---

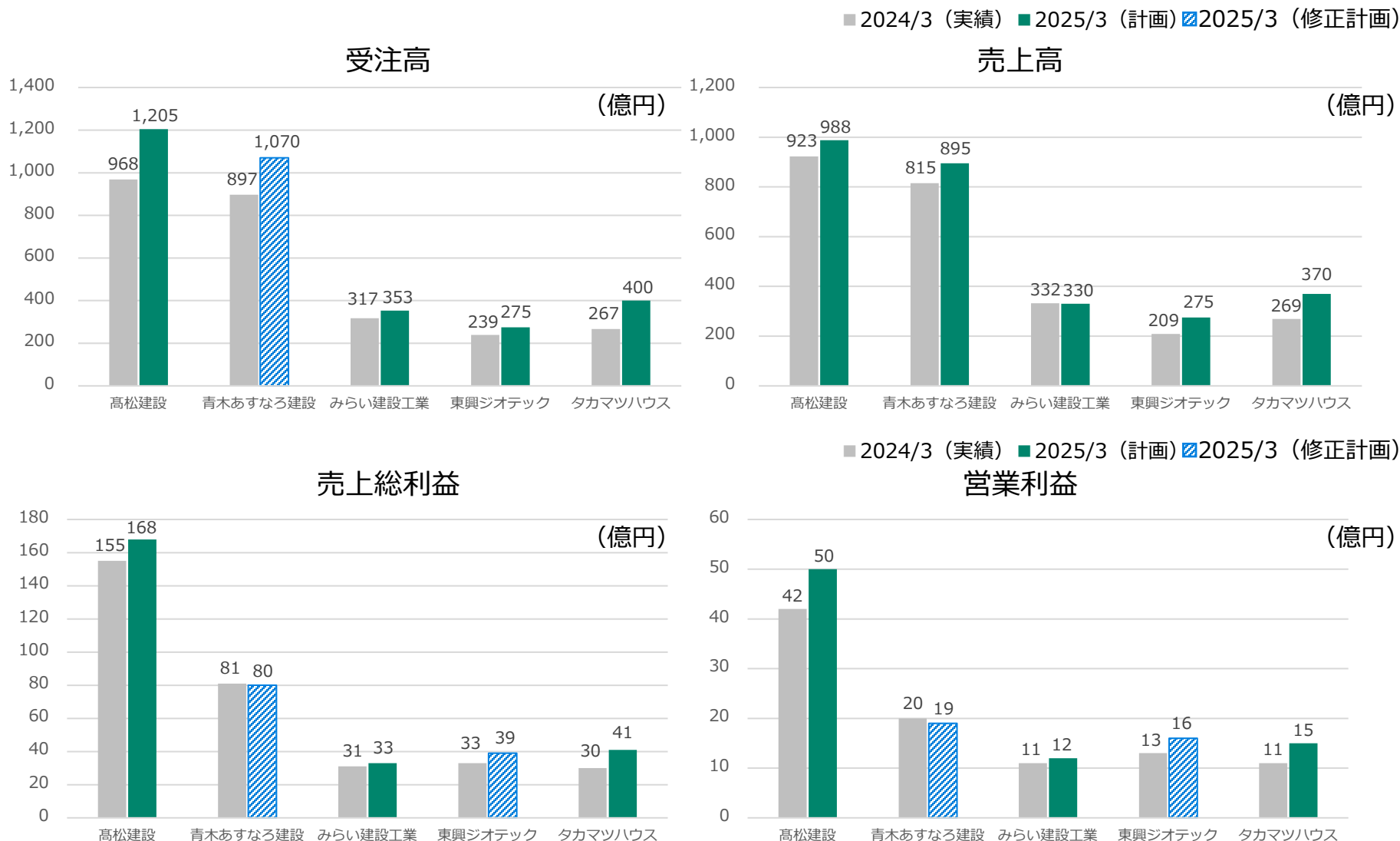
# 2025年3月期 業績予想

- ◆ 2024年5月15日に公表した2025年3月期通期の連結業績予想を修正。
- ◆ 2025年3月期の配当については当初予定通り1株あたり年間82円を予定。



# 中核事業会社別2024年3月期実績・2025年3月期年度経営計画

◆ 2025年3月期通期の連結業績予想修正に伴い、事業会社の年度経営計画も一部修正。



# 2025年3月期 業績予想のポイント

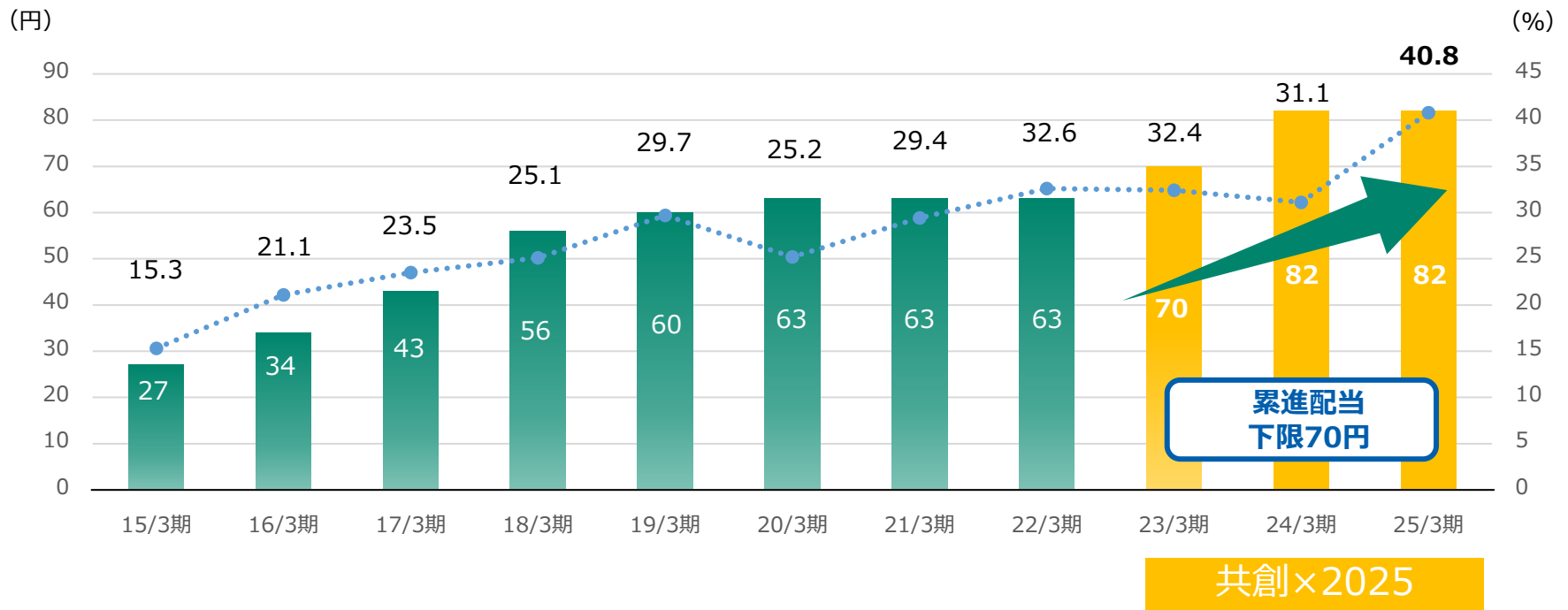
<b>2025年3月期第2四半期 業績の総括</b>	<p>計画に対し受注は過達。売上は計画通り。営業利益は計画を下回った。</p> <p>【受注】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>青木あすなる建設の建築セグメントの受注が好調かつ高松建設の受注が堅調であることが要因となり計画過達。</li></ul> <p>【営業利益】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>青木あすなる建設では、民間建築において大型案件の採算悪化が要因となり営業赤字。</li><li>当期に受注し当期に完工する案件の比率が高い東興ジオテックは、今期上半期の受注不振が売上・利益に影響し計画未達。</li></ul>
<b>2025年3月期通期 業績予想 修正の理由</b>	<p>期初発表に対し、受注は100億円増加、売上は据え置き、営業利益は20億円減少。</p> <p>【受注】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>青木あすなる建設をはじめ、建築セグメントの受注が好調であること。</li></ul> <p>【営業利益】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>建築セグメントの複数の手持工事において、資機材価格・労務費の高騰等による建設コスト増大の影響が残っており、コスト負担に関して発注者様との協議、原価低減、追加工事の獲得等による収益改善をはかっているものの採算を大幅に改善させることが困難であること。</li><li>土木セグメントにおいて、今期の収益に貢献する工期の短い案件を上半期に受注できず、建築セグメントの採算悪化をカバーできないこと。</li></ul>



# 2025年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2025年3月期の配当額は、連結業績予想は修正したものの、期初発表通り1株当たり**年間82円を維持**する予定。配当性向は連結業績予想修正に伴い**40.8%**を予定。

## 配当額・配当性向 推移



トピックス

---

# トピックス

## ◆ 高松グループ令和6年能登半島地震受注案件一覧（第2四半期時点）

このたびの令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。高松グループは一丸となって被災地の一日も早い復旧・復興に尽力してまいります。

以下、当社グループでの取り組みについて、今期第2四半期時点までに受注した工事をご紹介します。

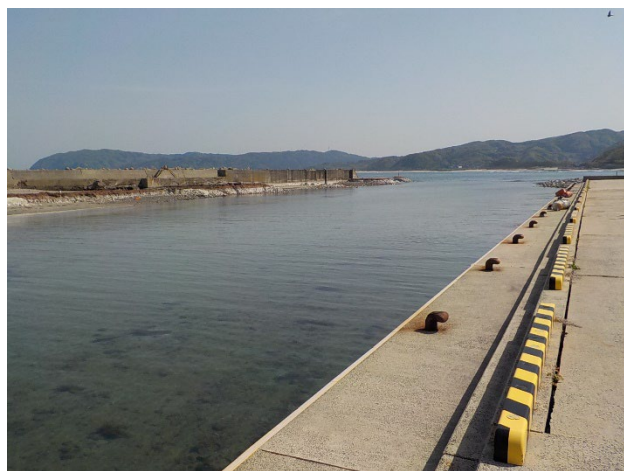
### ○ 青木あすなろ建設

(百万円)

案件名	工事場所	発注者	請負金額	工期
令和6年度 令和6年災 赤神漁港・劔地漁港応急復旧工事 (海上部)	<ul style="list-style-type: none"><li>石川県輪島市門前町赤神地先 (赤神漁港)</li><li>石川県輪島市門前町劔地地先 (劔地漁港)</li></ul>	輪島市	40	<ul style="list-style-type: none"><li>契約工期： 2024/6/19～9/30</li><li>実工期： 2024/7/16～9/30</li></ul>

### 工事内容

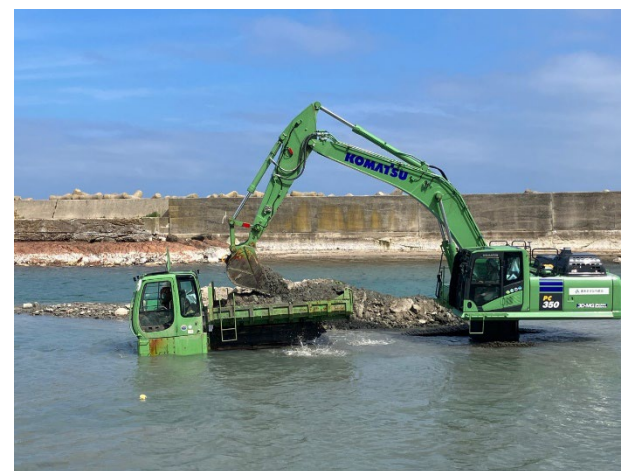
能登震災で被災した赤神漁港及び劔地漁港において、津波により堆砂した砂を除去すべく実施する応急復旧（泊地・航路）堆砂除去他工事



▲ 漁港



▲ 工事の様子



# トピックス

## ◆ 青木あすなろ建設

### ○ 市原市リサイクル施設整備・運営事業（DBO方式）

- ・発注者：千葉県市原市
- ・受注者：メタウォーター・青木あすなろ建設特定建設工事共同企業体／施工分担型共同企業体
- ・事業全体請負金額（設計・建設・設備・運営業務）：17,545百万円（税抜）
- ・青木あすなろ建設請負金額：7,070百万円（税抜）
- ・工期：2024年9月14日～2029年5月31日（設計工期を含む）
- ・工事場所：千葉県市原市福増124-2
- ・工事内容：ごみ処理施設の設計、建築工事、解体工事
- ・建築工事：
  - 工場棟・管理棟：延床面積 7,807.83㎡、RC造・S造、地下1階地上3階
  - ストックヤード棟：延床面積 1,656.75㎡、S造 地上1階／付帯施設：計量棟、車庫棟
- ・設備概要：リサイクル施設 42.1t／5h（不燃ごみ・粗大ごみ 26.2t、ペットボトル 2.8t、びん 9.5t、缶3.6t）  
／ストックヤード 1,560㎡





## ◆ 青木あすなろ建設

### ○ 調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備PFI事業（PFI-BTO方式）

- ・発注者：東京都調布市
- ・PFI全体受注額：11,800百万円（税抜）
- ・受注者：青木あすなろ建設を代表企業とするSPCを組成（PFI調布小・中学校図書館整備株式会社）
  - ・構成企業：青木あすなろ建設・巴山建設・オーエンス・東海テック・・・SPCへ出資企業
  - ・協力企業：伊藤喜三郎建築研究所・桂設計・GEN設計・巴山興業
- ・青木あすなろ建設請負金額（税抜）：
  - ① 施設整備（青木あすなろ・巴山建設JV）：9,542百万円（内青木あすなろ建設：7,633百万円）
  - ② SPC事業運営委託：145百万円
- ・工期：第1期工事 2024年9月25日～2027年10月31日（新築工事、調査・設計期間含む）  
第2期工事 2028年2月1日～2029年1月31日（既存校舎の解体・一部改修、外構、校庭整備）
- ・事業期間：2024年9月～2042年3月（維持管理期間：2027年11月1日～2042年3月31日（約14.5年間））
- ・工事場所：東京都調布市若葉町3-17-5（現若葉小学校敷地）、東京都調布市若葉町3-15-1（現第四中学校敷地）  
若葉小学校・第四中学校・図書館若分館の3施設を集約した複合施設の建設（約19,500㎡）
- ・事業概要：設計・建設（新校舎・既存改修・既存解体・グラウンド外構整備）、維持管理



# 高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。